

令和5年度
中国四国農政局技術検討会（第1回）
（補助事業再評価・事後評価）

議 事 録

事務局

ただ今から「令和5年度中国四国農政局補助事業再評価技術検討会」を始めさせていただきます。

事務局の農政局設計課の西村と申します。よろしくお願いいたします。

本技術検討会は原則公開とされておりますことから、10月12日に、本日開催する旨をプレスリリースしたところです。

本日は、傍聴の方及び報道関係者の申込はありませんでした。

それでは、まず初めに、中国四国農政局国営等事業管理委員会の委員長であります農村振興部長の都築より御挨拶を申し上げます。

～ 都築農村振興部長 開会挨拶 ～

続きまして、本日御出席いただいております技術検討会委員の皆様を御紹介させていただきます。

資料に本日の出席者の名簿を付けさせていただきますので、この順に沿って御紹介させていただきます。

岡山大学大学院 教授の諸泉委員長です。

岡山大学グローバル人材育成院 准教授駄田井委員です。

東讃地区生活研究グループ連絡協議会 会長の佃委員です。

なお、河口委員、豊田委員におかれましては、都合により欠席との連絡を受けております。

本日は5名の委員のうち3名にご出席頂いております。

技術検討会規則では委員の半数以上の出席で成立とされており、成立条件を満たしていることを御報告します。

なお、本日出席しております当局の委員等につきましては、配布資料の出席者名簿と座席表をもって紹介に代えさせていただきます。

それでは、以降の議事につきましては諸泉委員長に進行をお願いしたいと思います。

委員長に一言御挨拶をいただきまして、その後議事に従いまして進行をよろしくお願いいたします。

～ 諸泉委員長 挨拶 ～

諸泉委員長

本技術検討会については、公開となっています。

また、技術検討会の議事概要等の扱いにつきましても、技術検討会終了後に公表することとします。

それでは、令和5年度中国四国農政局補助事業再評価及び事後評価の技術検討会の進め方について説明をお願いします。

【議題1 令和5年度補助事業再評価及び事後評価の技術検討会の進め方について】

(事務局説明後)

諸泉委員長

ただいま説明のありました「令和5年度中国四国農政局補助事業再評価及び事後評価の技術検討会の進め方」について委員の皆様より御質疑をお願いします。

諸泉委員長

事後評価は実施体制について説明があったが、再評価の実施体制についての説明はなく、実施体制はどうなっていますか。

事務局（西村室長）

資料には記載していないが、事後評価と同じように実施体制を整備しています。

諸泉委員長

それでは、2つ目の議題、「令和5年度再評価対象地区の説明及び質疑」に入りたいと思います。

まず、水利整備関係の「名和3期地区」の説明をお願いします。

【議題2 令和5年度補助事業再評価対象地区の説明及び質疑】

〔再評価 名和三期地区：資料説明後、質疑〕

諸泉委員長

只今ご説明にありました名和三期地区について委員の皆様にご質問とかご意見がありましたらお願いします。

諸泉委員長

5ページ目に 整備前・中・後がありますが、昨日の現地調査で共同給水栓がまだ残っていました。これは当初からこれを必要とする方がまだいるということであったのか、残すというのは想定外であったのか教えてください。

愛宕水利整備課長

末端が完全に整備された場合、必要性は低くなると考えている。一方で、農家の方が、末端のスプリンクラー整備後に一部故障などした際に給水栓を活用し助かった事例もあり、給水栓を残して併用で使用できる形を想定しています。

諸泉委員長

このようなことでなにか予算に反映されたりするのでしょうか。

万が一、維持費が生じた場合は、県が維持費を支払うものなのでしょうか。

都築農村振興部長、愛宕水利整備課長

この地域の土地改良区である大山山麓土地改良区連合が受益農家から賦課金を徴収し、自分たちで維持管理することになります。

諸泉委員長

基本的に国から予算を投入されることはないと考えてよろしいか。

愛宕課長

基本的にないです。ただし、国営で造成した施設について、管理費の一部を補助する基幹水利施設管理事業と、国営造成施設に付帯する施設において、土地改良区が管理に関する取組を行った際の費用を一部補助する水利施設管理強化事業といった支援もあります。

諸泉委員長

わかりました。ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

佃委員

昨日の現地調査の際に果実部部長さんが、本当に水が大切だと言われており、その通りだと思いました。

また、農道は農家のためということもありますが、その地域で生活しているための道路でもありますので、やはり事故等を防ぐ意味でも農道の拡張というのはすごく大切なことだと思いました。

2点質問がありますが、予算が抑制されたとのことでしたが、国の方の何か理由があったのかどうか、それと、今回の現地調査していない地区や、末端の地区でも同じような状況なのか教えてください。

愛宕課長

まず、国の状況について、我々は財務省に対して予算要求しているが、子育て支援や防衛関係など他の目的での予算も必要性が生じており、土地改良予算の確保がなかなか厳しい状況であることを聞いています。

その厳しい状況の中で、農業農村整備事業に予算配分があり、その上で、県に配分することになります。県は、県内の事業又は地区ごとに「今年はここを集中的にやる」など県内事情を考慮した配分を行っており、年度予算の増減が生じています。

都築農村振興部長

8割は今年度の話であり、過去からずっと8割ではあったわけではないです。平成27年の29%もあり、過去県内の配分で優先すべきところを実施しているものと思われます。国は地区の個所付けまでは行いません。

佃委員

資材の高騰とか言われてますし、予算が抑えられて今後工期が遅れることや、維持費や工事

費が高くなることになるのでしょうか。

都築農村振興部長

今後、もしかしたらそういうことはあるかもしれない。先ほどの説明のとおり、来年度予算は、先ほど述べた子育て支援や防衛費の関係などに重点的に配分されることによって農業農村整備事業に対する予算の割当が要望に比べて少なくなる可能性はあります。

諸泉委員長

今のお話の可能性があれば、7ページの令和6年、7年の事業費が少し削られて、完了が遅れる可能性があるということでしょうか。

都築農村振興部長

その可能性はあります。

駄田井委員

逆に、事業費が増えて早く終わるみたいなことはあるのか。

都築農村振興部長

世の中の情勢によるが可能性はあります。

佃委員

そのような状況であっても、高齢化が進む中、事業を早く完了させ農業者が定着していくようなことが国にとって有益になると考えます。

都築農村振興部長

我々もそのように考えます。

駄田井委員

昨日の現地調査で、農産物の品質がすごく良くなったという話があったが 便益の中の生産効果や品質向上効果の方に計上していると考えてよろしいでしょうか。

愛宕水利整備課長

作物生産効果と品質向上効果で計上しています。

諸泉委員長

3ページに柿の写真はないが、地区内では、まだまだ少ないということでしょうか。

愛宕水利整備課長

梨メインとなっており、現状では、柿は少ないものと思われます。

統計は確認します。

駄田井委員

現地調査時に、後継者の話があったかと思うが、後継者が増えた場合の効果も数値化できればよいと思います。難しいとは思いますが将来的に事業費の効果に計上できればおもしろいと思うがどうでしょうか。

都築農村振興部長

ご意見として、承ります。

愛宕水利整備課長

効果には計上できないが、資料2の2に、地元（受益者、地方公共団体等）の意向があるので、後継者のことを追加したいと思います。

佃委員

効果の話題になったので、関連してお伺いしたいがあります。

国の方では令和7年度までに目標地図の作成を言われていますが、費用の効果を見る時にその地域が目標地図を作成済みの状態であると、費用対効果に加味されるとかはあるのでしょうか。

都築農村振興部長

参考にさせていただきます。

諸泉委員長

はいありがとうございました。

それでは次の地区である安井地区の説明をお願いします。

〔再評価 安井地区：資料説明後、質疑〕

諸泉委員長

ありがとうございました。只今ご説明にありましたな安井地区について委員の皆様にご質問とかご意見がありましたらお願いします。

佃委員

約1,500万円のコスト縮減されており、事業費高騰するのが多い中、すごく良いと思いました。また、農地集積率がゼロから64%も増加されているということも、この事業によって法人が立ち上がり、事業の価値が現れているものと思います。

環境整備のことで、三面張りより二面張りにして下に土ということですが、この工事をするにより三面張りより経費は削減されるのでしょうか。

野津農地整備課長

精査はしていませんが、二次製品の比較的単純な線形のケースは経済的になる。環境配慮の取組とも繋がっていると思います。

佃委員

わかりました。

駄田井委員

区画整理が終わってあとは暗渠を入れるだけということだと思うが、暗渠を入れるところと入れていないところに差があるのでしょうか。

野津農地整備課長

図面の下の方、南側にため池があります。このために近いほ場は湿潤なところがあり、必要な整備として暗渠を入れることとしています。

その一方で、国道11号線と河川に挟まれた川の近くは、比較的排水性がよいので、暗渠の計画は今のところないです。

駄田井委員

必要なところに整備しているということよろしいでしょうか。

野津農地整備課長

そのとおりです。

諸泉委員長

残り1年で整備できるのでしょうか。

野津農地整備課長

最終年度に約123百万円の額が無事配分されればと大丈夫と思います。

資材高騰の影響で予算が不足する場合は、一年伸びる可能性はあります。

都築農村振興部長

県の方針にもよるが、一般的に、完了年度を迎える地区に優先的に要望額を配分して、終わらせるパターンが多いです。

諸泉委員長

今のところ計画通りに進んでおり、認定農業者も計画と目標に近く、うまく進んでいる地区という印象を受けました。

ほかによろしいでしょうか。

では、続きまして防災関係の福住平村地区の説明をお願いします

〔再評価 福住平村地区：資料説明後、質疑〕

諸泉委員長

ありがとうございました。只今ご説明にありましたな福住平村地区について委員の皆様にご質問とかご意見がありましたらお願いします。

駄田井委員

今更ではあるが、工事計画の排除工の工事を長さで表すのはなぜでしょうか。

稲田防災課長

例えば地表水排除工の場合は、施工する工事が水路なので延長で表記している。水抜きボーリング工もボーリングの長さであり、また、アンカー工も地表面から基盤までを結ぶワイヤーの長さなので延長で表記しています。

諸泉委員長

関連して、斜面改良工1箇所を定量的に表記することはしないのでしょうか。

稲田防災課長

表記するとすれば、ボリュームになる何立米とかだと思いが、箇所数で表記しています。

諸泉委員長

例えばそのボリュームが変わると、何か影響があるのでしょうか。

稲田防災課長

ボリュームが変わると事業費に影響します。ただ、ボリュームの増減によって事業費が変動し、事業計画の変更に該当するかを検証し、変更に該当しないことを確認しています。

都築農村振興部長

基本的に排土工の場合はカ所で表現するのが一般的です。

佃委員

営農としては栗栽培が盛んにおこなわれている地区です。

地すべり対策は、人命に大きく関わることで、また、災害防止にもつながるとも大切な事業だと思います。

資料3、4ページのところに戸数が表記しているが、これは、田や畑、果樹園を守られている農家戸数なのかでしょうか。それとも、地域全体の戸数なのかでしょうか。

稲田防災課長

農家戸数か地域全体の戸数かは手元に資料がないので確認します。

都築部長

戸数は、農家戸数ではなく、全体の戸数です。

諸泉委員長

2ページに事業費が計画事業費よりも減少している理由は何でしょうか。

稲田防災課長

資料の4-2の2ページの上から3パラグラフに、令和3年度の計画変更後、アンカー工の延長が減少したことにより事業費が減となっています。なお、この変更は、計画変更には該当しないです。

諸泉委員長

他にいかがでしょうか？

無ければ、福住平村地区を終了したいと思います。

全体を通して大丈夫ですか？ 聞きたいことはありませんか？

佃委員

目標地図ですが、事業効果に計上することになるのであれば、やはり地域の人たちの環境整備。 将来を見据えた農業を行っていく必要があると思います。

諸泉委員長

事業費投入して整備したわけなので、中長期的というか、事業完了後5年で誰も農業をやらなくなっては困る。 地域の方が後継者となって育っていき、引き継がれていくことは大事なことだと思います。

佃委員

事業のことだけではなく後継者の育成について、農水省として、どういうふうなこうことを考えられているのでしょうか。計画通りにいかないのが人の心かなと思っております、地域ぐるみで相談する機会を増やすとか、そういった取組をこれから多く持って行かなければいけないと農業者としてそう思っています。

諸泉委員長

農水省として、多少は対策というか仕掛けをしている事例はあるのでしょうか。

都築農村振興部長

目標地図というのは地域計画の策定のことを言われていると思うが、計画の作成については別の担当が行っており、推進にむけた様々取り組んでいます。公共事業は手段の一つであり、例えば何億出したら話し合いが何回行いましたというような因果関係が定量化できれば、効果として計上できる可能性はあると思います。

事業をきっかけに将来像を作ってもらうのは、公共事業のそもそもの役割というかシステムであるので、そういったものが効果算定できるかどうか、今後の課題だと思います。

諸泉委員長

よろしいでしょうか。

以上もちまして全ての再評価地区の議事が終わりましたので、事務局にお返しします。

事務局

引き続き、令和5年度補助事業事後評価技術検討会を開催します。事務局の農政局土地改良管理課 川嶋です。よろしくお願いいたします。

それでは、議事進行につきまして、諸泉委員長に進行をお願いしたいと思います。

諸泉委員長

それでは議題「令和5年度補助事業事後評価対象地区の説明及び質疑」に入りたいと思います。水利整備関係地区の説明をお願いします。

【議題3 令和5年度補助事業事後評価対象地区の説明及び質疑】

〔事後評価 藤田錦六区地区：資料説明後、質疑〕

諸泉委員長

ありがとうございました。ただいま説明のありました藤田錦六区地区について、質疑を行いたいと思います。ご意見等ございましたらお願いします。

駄田井委員

説明資料9ページの「他の老朽化した農業用施設」とは、どういう施設になるのでしょうか。

愛宕水利整備課長

関連して干拓地にいくつかの排水機場や国営施設も一部老朽化が進んでおり、このような施設も含めて全体的に補修していく必要があります。

諸泉委員長

今の質疑に関連して、老朽化というのは、今回の施設に対してなのか、そのほかの施設を含めているのでしょうか。

愛宕水利整備課長

いずれの意味もあります。

諸泉委員長

今回の事後評価は、この事業の事後評価であるが、本事業で造った水利施設だけでなく、別に造った施設も含めているのでしょうか。

都築農村振興部長

本事業は、国営関連事業であるため、本事業以外の他の施設も含め、地域全体で老朽化した施設を定期的に補修していく必要があるということになります。

諸泉委員長

そのように事後評価していくということですね。わかりました。
ほかにいかがでしょうか。

佃委員

水の大切さ、良質な水の確保は農業者にとってはとても重要なこと。

地区別評価書2ページ「地域農業の動向」の認定農業者数の経営体が、1,037から2,810経営体に増えています。事業評価する上で、地域農業の動向が今後の地域農業を維持していく意味でも重要なことです。事業が地区にとってもとても有効であったということが表れているし、高齢化になっても、今後もまた農地が受け継がれていくシステムづくりができていくと、効果としてあったということが言えるのではないのでしょうか。事後評価としてはいいと思います。

愛宕水利整備課長

とても重要なご意見をいただきありがとうございます。

この地区では認定農業者も増えており、大規模法人もおり、冬には一面、麦が作付けされ、二毛作も定着しています。事業により整備をしたことで農業が活発化しています。そういった部分も結果書に取り入れるようにしていきます。

駄田井委員

本地区は、(経営面積が)50ヘクタールを超えるようなタイプの農家がいっぱい入っている地域で、30代、40代の若い世代の農家もいる地区です。

諸泉委員長

しっかり効果がでていくということですね。

私から1点。地区説明資料2ページの総事業費で、計画事業費より減っているのは、パイプラインの延長が減ったためなのか、資材が高騰している中、その理由を教えてください。

愛宕水利整備課長

確認し、次回検討会において回答します。

諸泉委員長

ほかにいかがでしょうか。はい、それでは、他にご意見がないようですので、本日の技術検討会の議事をこれで終了します。進行を事務局にお返しします。

事務局

諸泉委員長、どうもありがとうございました。委員の皆様、ご審議のほどありがとうございました。本日いただきましたご意見は、次の技術検討会でご説明をさせていただきたいと思っております。

それでは最後に委員長であります農村振興部長の都築よりご挨拶申し上げます。

～ 都築農村振興部長 閉会挨拶 ～

事務局

それでは、これもちまして、令和5年度中国四国農政局補助事業技術検討会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

(参考) 中国四国農政局 補助事業 再評価・事後評価 技術検討会の概要

1 日 時

令和5年10月25日(火) 9:45～11:10

2 場 所

大山山麓地区土地改良区連合2階会議室

3 出席者

【中国四国農政局技術検討会】

駄田井 久	岡山大学グローバル人材育成院 准教授
佃 俊子	東讃地区生活研究グループ連絡協議会 会長
諸 泉利嗣	岡山大学大学院環境生命科学研究科 教授

【中国四国農政局国営等事業管理委員会】

都 築 慶 剛	農村振興部長
川 嶋 等	農村振興部 土地改良管理課長
愛 宕 徳 行	農村振興部 水利整備課長
野 津 裕 之	農村振興部 農地整備課長
稲 田 善 秋	農村振興部 防災課長

【事務局等】

西 村 夏 郎	農村振興部 設計課事業調整室長
山 本 竜太郎	農村振興部 土地改良管理課農政調整官

4 提出資料

- ・議事次第
- ・出席者名簿
- ・令和5年度中国四国農政局補助事業再評価事後評価の進め方について
- ・令和5年度中国四国農政局補助事業再評価書「名和三期地区」

- ・令和5年度中国四国農政局補助事業再評価書「安井地区」
- ・令和5年度中国四国農政局補助事業再評価書「福住平村地区」
- ・令和5年度中国四国農政局補助事業事後評価書「藤田錦六区地区」